

「県別 26年 高校卒業者の進路」の解説

進路情報研究センター

A3「26年 高校卒業者の進路」の県別は、率(%)で表してあります。今回は実人数で集計しました。

26年の卒業者は25年に比べ、全国で▲40,733人(▲3.7%)と大幅に減少しました。そのため、大学等進学者は▲15,132人(▲2.6%)、専門学校進学者は▲6,947人(▲3.7%)と大幅に減少し、24年の状況に戻った状況です。(注目県にはアンダーラインを引いた)

〈大学等進学者減少県〉

① 東京	▲1,363人
② 埼玉	▲1,292人
③ <u>静岡</u>	▲ 948人
④ 千葉	▲ 738人
⑤ <u>栃木</u>	▲ 717人

〈専門学校進学者減少県〉

① <u>新潟</u>	▲ 739人
② 東京	▲ 711人
③ 埼玉	▲ 467人
④ <u>長野</u>	▲ 359人
⑤ 京都	▲ 252人

一方就職は、建設・建築業を中心とした人手不足から就職者が増加している都府県もあります。しかし、東北や四国、九州地区は就職者数が減少している県が多くなっています。

〈就職者増加県〉

① 愛知	+ 287人
② <u>栃木</u>	+ 251人
③ <u>長野</u>	+ 204人
④ <u>沖縄</u>	+ 184人
⑤ 大阪	+ 171人

〈就職者減少県〉

① <u>福島</u>	▲ 315人
② <u>静岡</u>	▲ 308人
③ 長崎	▲ 261人
④ 宮崎	▲ 252人
⑤ 熊本	▲ 199人

◎27年はどうなる？

右端の欄に「【参考】〈全日制〉3年生の生徒数」を掲載しました。これは27年の動向を探るためです。これによると、大都市圏の生徒数の増加が大きいという特徴があります。卒業生数全体としては、25年までは回復しないが、その半分くらいは回復しそうです。

以上